

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)イオンモール京都桂川新築工	階数	2
建設地	京都市南区久世高田町370-1	構造	S造
用途地域	商業地域・法22条地域・山並み背景	平均居住人員	340 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年9月 予定	評価の実施日	2013年7月31日
敷地面積	12,289 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社東洋設計事務所
建築面積	6,796 m <sup>2</sup>	確認日	2013年7月31日
延床面積	3,631 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社東洋設計事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア= 3.4**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 4.0

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.4**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.3

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.5

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
イオンモールという大型ショッピング施設の付属施設として建設されるこの建物には、交差点での渋滞緩和をさせるため、歩行者を自然に立体通路に誘導するためと、地域の動線計画を考慮して設計計画されている。これにより施設だけではなく、地域に対しても良好な生活環境の形成を提供できる建物を目標とし設計を行った。	南側の空地については地域のため多様な利用目的を想定している
<b>Q1 室内環境</b> 通風の良い屋上階から給気を行い、各階で排気する換気方法について配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 維持管理に配慮した設計を行った。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 植栽を敷地境界部分に周辺住宅との干渉帯となるように配置することで、地域の生活環境を保全できるよう配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な量の駐車スペースを確保することで、敷地周辺の交通負荷抑制に配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 太陽光発電を導入し、共用部の電力の一部に供給している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される